

# フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 mail：info@fb-komae.org

## 冬休みひとり親子育て応援！

～コロナ禍で踏ん張るひとり親家庭を**食料提供**で応援～

2020年冬休みひとり親子育て応援は、過去最多の116世帯(小学生以下28名・小学生63名・中学生45名・高校生48名)から申し込みがあり、1655,9kg(世帯平均14.2kg)の食料を提供しました。

この事業では、宅配か直接受取りで食品をお渡ししています。直接受取りの場合は、追加の食品を用意しています。今回は32%にあたる37世帯が直接受取りにられました。お子さんも一緒に来られ、「よく来たね、お母さんを助けてあげてね！」と声をかけると「わかってるよ、お菓子ありがとう！」と顔なじみになり、親御さんからも「Wワーク始めました。」など生活状況を気さくに話していられました。



### 受取りに來られるひとり親さんとの温かい気持ち

の交流があります。手書きのメッセージカードで「元氣や励ましをもらえる。」と多くの感謝の言葉があり、地域の支え合いに一步近づけたように感じます。「おいしいお菓子ありがとうございました、コロナに負けないぞ。」とお子さんからの力強いメッセージも書いてあり、私たちも強く励まされました。

### 学習支援を受ける子どもたちに クリスマスにお菓子を届けました！

昨年からはじまった子ども政策課のひとり親家庭の子どもたちへの学習支援。クリスマスイベントでフードバンク狛江から今回初めてお菓子・飲料を提供しました。家に持って帰って食べてもらうよう、親御さん向けに団体紹介の手紙(メッセージカード)もつけました。



## 【活動報告】

### ・12月

- 3日 ひとり親冬休み支援申込開始
- 5日 福祉カレッジで理事長講演
- 7日 ひとり親家庭に発送開始
- 15日 読売新聞武蔵野版に記事掲載
- 20日 コロナ困りごと相談会に食品提供(13名、100.6kg)
- 22日 NHK撮影、ニュース7で放映
- 23日 ひとり親冬休み支援申込締切
- 24日 冬休み支援発送終了、仕事納め

### ・2021年1月

- 4日 市庁舎仕事始め
- 7日 調布FM街角レポート出演
- 14日 福祉相談課・こまエール・フードバンク狛江 三者協議
- 21日 社会福祉法人連絡会からフードドライブ品の寄贈受取

### ・2月

- 9日 子ども政策課と冬休み支援の振り返り
- 19日 東都生協フードドライブ品の仕分け・寄贈受取

## 【今後の予定】

### ・3月

- 1日 春休みひとり親子育て応援申込み開始(10日締切)
- 4日 食品セット・発送開始
- \*事務所受取り日予定  
12(金)、14(日)、18(木)

## 2021年度、始動！新たな支援へ～ 就学援助世帯へ食品提供をはじめます！

コロナ禍が深刻化する中、フードバンク狛江の子育て応援は、ひとり親世帯だけでなく、食品提供を希望する就学援助受給世帯(経済的な理由で就学が困難なお子さんがある世帯)にも、給食のない時期の食料支援に取り組みます。引き続き皆様からの食品寄贈・寄付など、ご支援を宜しく願いいたします。

## 「フードドライブ」のご協力

ありがとうございました！



『狛江市社会福祉法人連絡会』6法人\*が、初めてフードドライブに取組み97.4kgの食品をフードバンク狛江に寄贈していただきました。ご寄贈いただきましたみなさま、ありがとうございました！  
『狛江市社会福祉法人連絡会』では地域住民が気軽に相談できる窓口として

6法人に「福祉なんでも相談」を開設しています。\*狛江保育園・ひかり作業所・虹のひかり保育園・こまえ苑・こまえ正吉苑・狛江市社会福祉協議会

感染防止対策を徹底して  
開所しています。



西野川事務所は毎週月曜・木曜 13時～16時。市庁舎作業所は、毎週月曜・木曜 13時～15時に開所しています。狛江市生活困窮者相談窓口『こま YELL』への食料支援は、5月～10月まで毎月100件ほどでしたが、12月以降少し減少し、1月は76件でした。『こま YELL』の学習支援も再開され、クリスマスには29人の子どもたちにお菓子を届けました。

## 12月以降、寄付・食品寄贈でご支援いただいた皆さま 本当にありがとうございました。(敬称略)

■食品の寄贈:三色パステルアート/(株)ローソン/堀口珈琲/明治ホールディングス(株)/(有)エイソアイ・コーポレーション/コカ・コーラボトラーズジャパン(株)/ポラン広場東京食品ロス・リポーンセンター/(株)クラダシ/江崎グリコ(株)/コープみらい染地店/おてらおやつクラブ華嚴院(町田)/天理教江東分教会/狛江市安心安全課/狛江三田会/東京すずらの会/調布・狛江地区保護司会/(株)天塩/ 狛江市社会福祉法人連絡会/(株)ロッテ/東京都福祉保健局、他企業・市民の皆さまより 2.8トン。

■助成金:12/25MDRT 助成を受ける(写真)

\*MDRTとは世界で活躍する生命保険募集人のプロフェッショナルが会社の垣根を越えて相互研鑽や社会貢献活動をしている団体です。

■お金の寄付:21名のみなさまから総額26万円の寄付が寄せられました。



## 理事長コラム

コロナ禍が続く中、就労先や住居まで失う方が増えています。フードバンク狛江にも他都市の方からSOSが入ってきます。他都市への継続した個人支援はやっていないため、食料を支援する緊急ケースなのかを聞いています。最近の

2件はすでに就労に向け動かれていました。一人は「路上生活からネットカフェで過ごすようになり、行政の宿泊支援でホテルにいます。宿泊期限の2週目には仕事先の寮に入れるはず。食べる物がなく、ホテルでは調理ができず、食べる物をもらえませんか？」もう一人は「就労がダメになって、手持ち金もなく今日面接予定です。仕事が決まれば、電気は使える、お米は残っているので、調味料があったらありがたい。」と話してくれました。1月28日に食品を送り、その後二人からメールが届きました。「たくさんの食料の支援をしていただき、一生忘れません。大切に食べさせていただきます。本当にありがとうございました。」もう一人も、「食べ物が届きました。美味しくて嬉しくて、ありがたくて、涙が出ました。仕事はおかげさまで無事合格し、希望が生まれました。本当にありがとうございました。」と書かれています。たった6kgほどの食品をこれほど喜ばれることで、二人の状況の大変さが想像され、その後の支援があるか、とても気になりました。生活が困窮したら、まず生活保護へつなぐ行政もありますが、国は生活保護の手前の支援として、生活困窮者自立支援法をつくり、各行政は就労支援など相談窓口へつなげ、生活を何とか安定させるような支援を実施しているはず。

コロナ禍でその支援がどうか止まることなく、必要な人々に届いてくれることを心から願っています。

理事長 田中 妙幸



NPO 法人 フードバンク狛江 事務所・倉庫

〒201-0001 狛江市西野川 1-16-7

開所日: 毎週月曜・木曜 13時～17時

当面の間 13時～16時に時短で開所しています。

Facebook: 「フードバンク狛江」で検索

現金や振り込みだけでなく、  
クレジット決済でもご寄付を  
受け付けています。



2021年度会員・賛助会員も募集しています